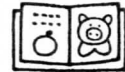


図書館だより 2月号

〒519-0505 伊勢市小俣町本町2番地 (電話) 0596-29-3900 (FAX) 0596-29-3902

小俣図書館 図書館行事 ご案内

おはなし会 1階・おはなしのへや



2月12日(土) たんぽぽおはなし会、午後3時～

2月20日(日) ピッコの会・紙芝居、午前11時～

★図書館おはなし会&工作教室

(1階・おはなしのへや)



(日時) 2月26日(土) 午後3時～

(対象) 3歳～小学生(就学前の子どもは保護者同伴)

(内容) おはなしを読んだあと、ひな人形を作る工作をします。

★「赤ちゃんおはなし会」 1階・おはなしのへや

2月10日(木) 午前11時～



◆上映会 2階・視聴覚室

2月19日(土) 午後2時～

「三遊亭楽太郎 十八番集」

禁酒番屋(29分)、死神(38分)

六代目三遊亭楽襲名記念

開館時間 月・水・木・金・土・日 午前9時～午後7時

休館日 毎週火曜日

第2金曜日、年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内

(10冊のうち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内

(50冊のうち雑誌は25冊まで)



小俣図書館カレンダー



2月

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

マナーアップ月間

みんなで利用しよう小俣図書館

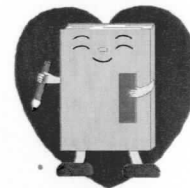
★『図書館愛川柳 みんなの小俣図書館』

作品展示

期間: 2月2日(水)～28日(月)

場所: 1階・玄関

内容: 昨年11月にご応募いただいた『図書館愛川柳』の作品を展示します。

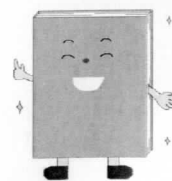


★汚損・破損した本の展示

期間: 2月12日(土)～28日(月)

場所: 1階・閲覧室

内容: 汚損・破損によって修理が必要になった本や、貸し出しできなくなった本を展示します。



図書館だより



2月号

(編集・発行) 伊勢市立伊勢図書館
指定管理者 株式会社 図書館流通センター
(住所) 〒516-0076 伊勢市八日市場町13番35号
(電話) 0596-21-0077
(FAX) 0596-21-0078
(ホームページ) http://iselib.city.ise.mie.jp/

「おはなし会」

(日時) 毎週土曜日 午後2時30分～

(場所) 1階・おはなしコーナー

2月5日/おにいさん、おねえさん による おはなし会

2月12日・19日・26日/おはなしプーさん による おはなし会

絵本の読み聞かせや、紙芝居などをやっています☆



「施設利用抽選会」

(日時) 2月4日(金) 午前10時～

《受付は午前9時50分～》

(場所) 2階・視聴覚室



「汚損・破損した本の展示」

(展示期間) 2月12日(土)～22日(火)

(場所) 2階・展示ホール

(内容) 汚損・破損によって修理が必要になった本や貸出できなくなってしまった本を展示します。

平成22年度人材育成事業講座企画
本へのきっかけスキルアップ講座

「もっと読み聞かせじょうずにいたい」

(日時) 2月27日(日)

◎午前10時30分～12時30分 ◎午後2時～4時

(場所) 2階・視聴覚室

(内容) 午前「幼児への読み聞かせについて」

午後「小学校での読み聞かせについて」

各テーマについて、実践を重視した講習を行います。

(講師) 霜田美津子氏(桜花学園大学非常勤講師)

(対象) 学校・家庭・地域で子どもの読書に関わる活動を推進・実践されている方。また、興味・関心がある方。

(定員) 30名(午前・午後、いずれかのみでも可)

(申込み) 2月5日(土)から伊勢図書館(カウンター・電話・FAX)または、三重県生涯学習センター(窓口・電話・FAX・ハガキ・Eメール・ホームページ・携帯サイト)にて。



開館時間 月・火・木・金・土・日 午前9時～午後7時

休館日 毎週水曜日

第2金曜日、年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内

(10冊のうち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内

(50冊のうち雑誌は25冊まで)



伊勢図書館カレンダー



2月

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

「リサイクルフェア」

(日時) 3月5日(土) ◎午前9時30分～午後4時

3月6日(日) ◎午前9時～午後3時

(場所) 2階・視聴覚室

(内容) 保存期間を過ぎた雑誌(100種類以上・約2,000冊)や図書(約2,000冊)をリサイクルします。

(整理券) 事前配布 2月26日(土) 午前9時～先着160名 無くなり次第終了

※3月5日(土) 午前11時30分までは、入場制限を行い、1人につき5冊までとします。

3月5日(土) 午前11時30分以降、6日(日)は入場・冊数とも制限はありません

本のごあんない

〔一般書〕

「温故知新」

春はあけぼの。やうやうしろくなりゆく山ぎは、すこしあかりて・・・

(枕草子)



花鳥風月を愛する国日本。
古典文学の魅力は何百年或いは何千年の時を経ても色褪せません。

- ◎日本の古典をよむ 古事記他 一卷～二十巻 (小学館)
- ◎謹訳源氏物語 一卷～四巻 (紫式部/著 林望/訳 祥伝社)
- ◎へたな人生論より枕草子 (荻野文子/著 河出書房新社)
- ◎西行 捨てて生きる (平凡社)
- ◎知っ得 日本の古典名文名場面100選 (国文学編集部/編 学灯社)



〔児童書〕

おいしい、おかし！つくっちゃおう！

おかしを食べると、しあわせな気持ちにないませんか？

今月はおかしを自分でつくる本や、おかしが中心の読みものを選びました。

おかしの本は見ているだけでも、楽しいですよ！

- ★ **どんな国？どんな味？世界のお菓子1～6** (服部幸応・服部津貴子/監修 岩崎書店)
- ★ **贈ってうれしいチョコレートスイーツ** (宮沢うらら/著 汐文社)
- ★ **チョコレートの大研究 学んで楽しい、つくっておいしい おいしさのヒミツと歴史、お菓子づくり**
(日本チョコレート ココア協会/監修 PHP 研究所)
- ★ **ルルとララのチョコレート** (あんびるやすこ/作・絵 岩崎書店)
- ★ **チョコレート戦争** (大石真/作 理論社)
- ★ **わかったさんのショートケーキ** (寺村輝夫/作 永井郁子/絵 あかね書房)



〔ヤングアダルト〕 **チョコレートを食べる前に・・・**

チョコレートが禁止された世界で、密売組織を作り、地下チョコバーをはじめ物語や、弟の誕生日プレゼントに買った「こねこのチョコレート」のはなしなど、チョコレートが思わず食べたくなるような読み物や絵本を紹介します。

〔児童書〕

- ☆ **こねこのチョコレート** (B.K.ウィルソン/作 小林いつみ/訳 大社玲子/絵 こぐま社)
- ☆ **ロアルド・ダールコレクション2 チョコレート工場の秘密**
(ロアルド・ダール/著 クエンティン・ブレイク/絵 柳瀬尚紀/訳 評論社)

〔一般書〕

- ☆ **ラ・パティスリー** (上田早夕里/著 角川春樹事務所)
- ☆ **銃とチョコレート** (乙一/著 講談社)
- ☆ **チョコレート・アンダーグラウンド** (アレックス・シアラー/著 金原瑞人/訳 求竜堂)

〔ヤングアダルト〕とは・・・
ヤングアダルトとは、中・高生の読者に対して使われている言葉です。こちらでは、十代の若い世代におすすめの本を紹介しています。



★伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。ご利用館にない場合は、予約ができます。

「御頭神事」

ふるさとの風
～如月～



「エイター」「エイター」・・・

伊勢市御菌町高向大社の御頭神事では、御頭を振りながらこう唱えて拝礼する。

この神事は、昭和52年5月に国の重要無形民俗文化財に指定された。
現在は2月の第2土曜に行われる。

御頭とは獅子頭のこと。
村人たちは敬意を表してそう呼ぶ。

神事の起こりは、養和年間(1181年～1182年)、村で飢饉や疫病が蔓延した際、正法寺の妖童木棺が神庫から御頭を出し、村内を廻って踊り舞ったところ、平安が訪れたことに始まるという。

神事は早朝から深夜にかけて執り行われるが、特筆すべきは大社の神前で披露される「七起こしの舞」。

これは素盞鳴尊の八岐大蛇退治の神話をかたどったものと伝えられる。八岐大蛇がいけにえの奇稲田姫を求めて歩き回る様子の一段目から、七段目には大蛇が神となって天上する。2月の凜と張り詰めた空気に、御頭の力強くも繊細な舞が美しい。

その後、御頭は村中の各氏子へ悪魔払いの「フクメモノ」を行い、夜の「打祭」を迎える。打祭では、松明の火の粉がふりそそぐ中、御頭を高々と打ち降る。燃えさかる炎に照らされる御頭は、まるで雄叫びをあげているかのように雄々しい姿となる。

現在まで続く、800年以上の歴史を秘めた伝統あるこの行事は、禱屋制で全区民を挙げて行い、また決して「獅子舞」と呼ばないことから、伊勢大神楽などの専門職による獅子舞と同一化することを疑問視する説もある。

また素盞鳴尊については、「七起こしの舞」やその祭祀である天王祭、「蘇民将来子孫の門」の伝承などを考えると、神宮祭祀とは別に、日常祭祀の中での存在が大きく浮き彫りになるようである。

- ◆ 三重のまつり 随想 (松浦良代/著 光書房 L386/マ)
- ◆ 三重の祭 (乾淳子/編 伊勢志摩編集室 L386/ミ)
- ◆ 御菌村誌 (御菌村誌編集室/編 御菌村 L243/ミ)
- ◆ 祭礼行事・三重県 (高橋秀雄 [ほか]/編 おうふう L386/サ)